

たわわ



地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2007年5月30日

78号

NPO法人「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

地域で生きる障害者たちの生活を写真で伝える

第5回写真展 この笑顔まもりたい！

——7月2日(月)～7月6日(金)まで・大倉山「ギャラリーかれん」で——

姫アジサイの そそとして咲く姿がやさしく、梅雨を前にして、いま爽やかなよい季節です。急に チャリティーコンサートの話がまとまりましたが、時期がちょうど写真展と重なることになってしまいました。

写真展も今年で5回目ですので、一応の区切りとして、これまでの記録の中から、重度障害者のすてきな笑顔写真集に残すことを決めただけでした。

これまでも、写真展と配布用の冊子を作ることでさえ、バタバタとしていましたので、「一時に3つはきついでから 写真展はやめたら...」といってくれる人もありましたが、外に出ることの少ない重度障害者のようすを、地域の人々に知らせ理解を得てゆくには、たゆみない働きかけが必要です。19年度の事業計画として上げられていた企画ですので、予定通り実施することにしました。

一方 チャリティーコンサートは、国際ジュニアショパンコンクール優勝者の天才ピアニストを迎え絶好の機会です。

経営基盤を強化したいグループホームよつばホーム運営委員会への支援を、今回の総会で決めただけですので、ぜひとも成功させたいイベントです。

まるで、よく言われる“盆と正月が一度にきた”状態で、実行委員のみんなも頑張っています。

お時間の合う方は、ぜひご参加くださるよう、お待ちしております。

地域で生きる重度障害者支援チャリティーコンサート

デミトリー・シシキン ピアノリサイタル

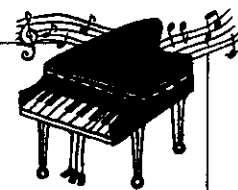
日時：7月7日(土) 午後6時開場 6時30分開演

会場：横浜ラポールシアター

主催：NPO法人地域で生きる障害者を支える会・よつばホーム運営委員会

チケットお問い合わせ：よつばホーム☎591-7040、第2よつばホーム☎592-5908

活動ホームしもだ(呼) ☎562-3600



たくさんの元気をありがとう！

横浜市社会福祉協議会障害者支援センター
市 香織

「地域で生きる障害者を支える会」のメンバーのみなさんと出会って丸五年が過ぎました。この間、第2よつばホームがスタートし、みなさんの「地域で生きる」という願いは着実に前進したのではないのでしょうか。毎年、よつばホームの前で開催される地域交流バザーも地域の方々に根づいてきていると感じています。

メンバーのみなさんのことを考えると、活動ホームでもグループホームでも、いつも笑顔で過ごしている姿が一番に思い浮かびます。みなさんに会うと、自然とほっぺが上がり、気づくと私もいつの間にか笑顔になっています。みなさんの笑顔には、一緒にいる人たちをあたたかな空気でも包み込む力があると思います。私がちよっと落ちこんでいた時には、みなさんからたくさんのパワーをもらい、「よし、がんばろう！」とやる気が湧いてきたこともありました。

支援費制度、自立支援法の施行と制度がめまぐるしく変わっていますが、みなさんが楽しみながら、穏やかな生活を地域で送れるよう、応援していきたいと思っています。これからもよろしくお祈りします。

新吉田で楽しく交流イベント

グループホーム『よつばホーム』も5年6ヶ月たち『第2よつばホーム』は3年目となった4月。記念の地域交流バザーをおこないました。

このイベントは、毎年よつばホームの庭先で行なわれ、今年は5回目となりましたが、記念に感謝をこめてコーヒーなどの飲み物を無料でお飲みいただきました。

飛び入りのおしるこがあったり、手づくりのお赤飯や混ぜご飯、名物の焼きそば、おでん、フランクフルトなど、狭いながらもお祭りの雰囲気をもりあげて、いくつかしつらえたテーブルでは、近隣のご婦人たちもティータイムを楽しんでいただけました。



もちろんメインイベントは、雑貨や衣料品のガレージセールです。「支える会」の家族会やボランティアさんたちで大奮闘。ミニバザーには、ミニバザーの楽しさがあった、その場での楽しい駆け引きもOK!です。また、入居者が余暇で作った、スキルビーズの作品や、革細工の小物なども展示販売し、好評でした。場所が、限られますが、障害者たちに会っていただきながらの交流には、よいのかな...と。工夫しながら来年も地域の皆様との催しを続けたいと思います。



めがねの声

■ バザーは 楽しい時間・・・

活動ホーム「しもだ」では 一年中で一番忙しい バザーが済みました。

家族の会や地域のボランティアさんたちが、おおぜいで準備する 大変なイベントです。

私は ちょっと 楽しみもあります。いつも土曜日に 私が活動している「しもだ青年クラブ」は、やさい売り場と 花の苗の売り場を担当します。そのほかに自分たちが 作っている革製品を売ったり、前日に作った お菓子を売ったりしています。

楽しみなのは、 久しぶりに いろいろと 懐かしい人たちに会えることです。「お元気そうね」とか「まだ 絵をかいているの?」とか 声をかけて下さいます。

* * *

いつも 学校にいた頃から 母と一緒に ひとみ座のデフパペットシアター(聴覚障害の方たちの劇団)の劇や 人形劇を上演する会や、 障害者とボランティアと一緒に活動する「みんなの会」など いろいろなグループに顔を出していました。そのころの 懐かしい友だちが あちらこちらにいます。こんな機会に来て下さると とても嬉しいし いろいろなことをしてきて よかったなと 思います。

毎日見守ってくれる 職員やよつばの人たちは 家族のようですが、 それとは別に、私は自分で言うのは 恥ずかしいのですが 青年クラブの活動の中で 一番成長したように思います。

それまでは あまり 自分の考えを 自分で確かめることもしなかったし、みんなの前で言葉が出ないので発言することも ありませんでした。この10年あまりで 生まれ変わったような気がするほどです。青年クラブではみんな 一番手のかかる 肢体不自由で言葉も出ない私を 親身に手伝ったり 一緒に考えてくれます。

そういう仲間たちと バザーの中で、忙しいけれど 活気のある時間を過ごせることは うれしいし、仲間は大切だなと思います。

大原友子

ご入会 ご継続 ありがとうございます

〔敬称略〕 (19年5月30現在)

《会員》	菅原 賢	福田 定子	鈴江 美博	
《賛助会員》				
鈴木 玲子	富岡 元道	白川田倫世	寺田 偕子	寺田 美奈
荒井 洋一	荒井奈津美	石井 正夫	金子瑠美子	渡辺るり子
赤瀬 福子	清宮 一恵	松本 直子	有留ナリ子	丸山 洋子
《賛助会員団体》				
港北区肢体不自由児者父母の会	(有)横浜総合印刷	フォーラム港北教育相談室		

今月のよつばホーム

よつばホーム

5月は入居者にとって大きな行事が2つありました。まずひとつは、GWに第2よつばホーム入居者と一緒に新羽駅そばのパーミヤンへ行きました。天候にも恵まれ、みんなで一緒に歩いていきました。パーミヤンへ着くなり、早速注文します。期待を裏切らず焼きそばを頼む人、健康のため低カロリーメニューを頼む人などそれぞれです。みんなでおいしくいただきました。

もうひとつは、しもだのバザーがありました。前日から入居者のみんなは、「お金用意した?」「明日は半そででもいいかな?」「焼き鳥屋さん♪焼きそば♪」「シッシッシ♪」と楽しみを隠しきれない様子です♪こちらも天候に恵まれみんな楽しかったようです。

天候に恵まれたのはみんなの日ごろの行いの良いせいか・・・???

4人そろって元気に参加できて何よりです。

第2よつばホーム

2006年11月から始まった 毎週木曜日のリクエストメニューも早いもので半年が経過しました。美味しく、普段の夕飯ではなかなか出ない珍しいおかずも多いので、入居者のみんな、スタッフにも好評です。そこで好評だった、山田 宏さんのリクエストメニューのレシピを1品だけ紹介いたします。



【あんかけ日本焼きそば】

材料4人分

そば(乾麺)3束 いか1杯 しいたけ3枚 人参1/2 三つ葉1束 だし汁1カップ

- ① いかは内臓を除き、胴は1cm幅の輪切り、足は2~3本ずつ切り離し、3cm長さに切る。しいたけは軸を除き薄切りに、人参は薄い短冊切りに、三つ葉は2~3cm長さに切る。
- ② そばはたっぷりの熱湯で表示通りにゆで、ざるに上げて水洗いし水気をきり、しょうゆ、ごま油各小さじをからめる。
- ③ フライパンにごま油少々を熱して②のそばを広げ入れ、へらで押し付けて焼付け、皿に取り分ける。
- ④ 続けてフライパンにサラダ油小さじ1を熱していかを炒め、色が変わったらしいたけと人参も加えて炒め合わせ、だし汁を加える。人参が柔らかくなるまで煮て、三つ葉を加えてひと混ぜする。
- ⑤ 酒大さじ1、塩で調味し、水溶き片栗粉でとろみをつけ、③のそばにかける。是非、お試し下さい。